

消防防災博物館

当博物館はインターネット上の仮想博物館です。建物は存在しません。

サイト内検索: [検索](#)

[見て学ぶ](#)
[調べる](#)
[東日本大震災](#)
[防災展示場](#)
[こどものひろば](#)
[イベント・掲示板](#)

[日本の火山・世界の火山](#)
[防災訓練映像紹介](#)
[防災まちづくり](#)
[消防防災に関する情報通信](#)
[防災センター](#)

[消防防災GIS](#)
[基礎知識](#)
[報告書・記録集](#)
[消防専門知識の提供](#)
[防災専門知識の提供](#)

[教材資料コーナー](#)
[法令を探す](#)
[火災・事故防止に資する防災情報データベース](#)

[フリーワード検索](#)
[日本地図から検索](#)
[絞り込み検索](#)
[年度別優良事例リスト](#)



防災展示場

消防防災関連のアイテムを一堂に展示中!
▶ [すぐにアクセス](#)

消防防災GIS

活用情報やQ&A等を掲載しています。地図データやバージョンアップ版のダウンロードもできます。

イベント情報

消防や防災のイベント情報満載!
こちらよりご覧ください

災害写真データベース

被災状況や対応の様子など。
▶ [こちらから](#)

関連サイト

- ≫ [総務省消防庁](#)
- ≫ [防災・危機管理e-カレッジ](#)
- ≫ [消防防災科学センター](#)

お役立ちリンク

- ≫ [法令を探す](#)

少年消防クラブ員宿泊研修



広島市少年消防クラブ連絡協議会
(広島県広島市)

事例の概要

<経緯>

少年消防クラブでは、少年期の防火防災教育を目的として、概ね小学4年生から中学3年生までを対象に、火災予防に関する研修、施設見学、訓練、各種防火防災行事への参加及びPR活動等を行っており、クラブ員をはじめ家庭、地域への防火防災意識の高揚を図っている。

この活動の一環として、昭和63年から市内の野外活動施設において、防災キャンプを通じた各種防火防災研修、レクリエーション等を実施していた。しかし、広島市総合防災センターの宿泊研修施設の整備に伴い、平成10年度からこのセンターを活用した「少年消防クラブ員宿泊研修」を実施している。

<内容>

広島市内の少年消防クラブ(14クラブ活動中)のうち、小学5年生のクラブ員を対象に広島市総合防災センターの最新の研修機器、設備を駆使した本格的な実践体験訓練を1泊2日のカリキュラムで実施し、少年消防クラブ員としてより高度な防火防災知識を身に付けることを目的とするものである。特色

については以下のとおりである。

1. 消火器、屋内消火栓設備、自動火災報知設備、避難器具、防火シャッター等各種の防火防災設備に触れ、実際に使用するなど、日ごろのクラブ活動では体験できにくい訓練を通じて、火災等災害発生時における防災行動力を向上することができる。
2. 日頃、交流することがあまりない他のクラブ員とともに、研修、宿泊をすることにより、団体生活における協調性を養い、クラブ員相互の親睦を図ることができる。
3. 防災センターの特色的カリキュラムである、夜間の火災を想定した抜き打ちの避難訓練を実施し、ホテル等での就寝中における火災を想定したリアルな体験訓練をすることができる。
4. 研修対象者を、修学旅行を控えた小学5年生のクラブ員としたことにより、旅行先における防災行動力及び防火防災意識の向上を図ることができる。
5. アトラクションとして、消防体験リレー(防火衣を着装後、消防ホースを延長し、更に応急担架による風船運びを行いタイムを競うもの)を実施するなど遊び的要素を加味し、楽しみながら消防業務を理解させている。



防火シャッター説明



防火講話



煙体験避難訓練



消火訓練

苦勞した点

1. 参加対象者が小学5年生のため、体験訓練等の実技を主としたカリキュラムでは安全管理の面において非常に神経を使う。
2. 限られた経費の中で、クラブ員の興味を引くカリキュラムの編成が必要であり、多様な工夫が求められる。

特徴

1. 防災センター職員により、年齢に適したユーモアを交えたきめ細かい指導を行うとともに、充実した研修機器・施設により、クラブ員が非常に興味を持って研修に臨んでいる。アトラクションとしての消防体験リレーは遊玩的要素もあり好評であること、異なるクラブ員同士が研修・食事・宿泊等一連の団体行動を通じて交流を深めていること等により、クラブ員同士の一体感が醸成され研修効果を一層高めている。研修終了後のアンケートからもクラブ員に好評であることが伺え、有意義であることが充分認められる。
2. 火遊びによる出火件数は毎年横ばい傾向であり、火災原因のワースト5になっている。このことから、各クラブ活動の更なる推進を図ることはもちろん

んのこと、研修に参加したクラブ員の防火防災意識の向上、並びにその家族や友人、成長した将来において周囲に与える波及的効果は大きい。

団体概要

広島市少年消防クラブ連絡協議会：昭和59年に設立、市内14少年消防クラブの各幹事長により構成、役員は会長以下14人、クラブ員401名(平成14年8月5日現在)

実施期間

昭和63年～

[▲ページトップへ](#)